2014年度　日本農業経済学会　第１回常務理事会　議事録

開催日時：2014年7月26日（土）　15:00～18:30

会　　場：東京大学農学部１号館３F　農業・資源経済学専攻会議室

出席者：生源寺会長，福井副会長（学会誌），玉副会長（学会賞・国内学術交流），米倉副会長（国際交流），中嶋副会長（企画），北川理事（財務），松下理事（財務），清水理事（和文誌編集），伊東理事（英文誌編集），福与理事（学会賞・国内学術交流），不破理事（国際交流），能美理事（企画），梅津理事（情報），櫻井理事（庶務），野見山理事（開催校代表），岡田理事（北海道地区），森田理事（東北地区），木南理事（北陸地区），荒井理事（中部地区），三田村理事（近畿地区），中道理事（四国地区），農林統計協会・武石参事（事務局），草苅編集委員（オブザーバー参加）

欠席者：石田理事（中国地区），矢部理事（九州地区）

１．2015年度東京農工大学大会について

* 開催校代表の野見山理事より，会場準備の状況について報告があった。シンポジウム会場をはじめとする主会場を確保したほか，関連学会会合の日程も考慮して会場を準備中であることが報告された。

２．各担当の業務について

* 各担当理事および副会長より，幹事会（6月22日開催）以降の進捗状況を中心に報告があった。また重要な事項について意見交換を行った。

[企画]

* 中嶋副会長，能美理事に加え，福井副会長と清水和文誌編集委員長が企画委員会に参加することになった。
* 資料に基づき，シンポジウム案の提案があり，その内容について検討を行った。
* 2015年度シンポジウムは「戦後農業の発展過程　―日本とアジアの比較―」をテーマとし，福井副会長を座長として，制度・政策を計量分析により評価できる報告者を選考中であることが報告された。
* また2016年度シンポのテーマとして，15年度との連動性も配慮し，「農業制度の展開過程　―日本農業モデル―」が提案された。
* 2015年度には日韓シンポを行うことを確認した。
* 9月初め刊行予定の和文誌に掲載予定のスケジュール案が提案された。
* 2015年度シンポジウムの内容を中心に検討を行い，報告者の選び方や前期からの引き継ぎ事項（シンポジウムの改善）との関係を中心に意見交換がなされた。基本方針は了承され，企画委員を中心に，早めに報告者の選定を行うことになった。

[編集]

* 主に草苅副編集長（会誌改革担当）より，資料に基づき，現在進められている会誌改革の進捗状況について報告があった。「論文集」に掲載されている論文を和文誌と英文誌に取り込む方針が確認された。
* 会誌改革に必要な諸規程および会則の改正案（一部廃止を含む）について説明があった。
* 規程および会則の改正案の文面，特に査読時の審査項目を中心に意見交換を行った。表記上の修正点やわかりにくい表記を改めることとし，規程については編集委員会が責任を持って改正し，次回総会にて報告することになった。会則については大会時の理事会および総会で改正を諮ることとし，その際に論文集の取り扱いの経緯についても説明することにした。
* 会誌改革に伴い，今後出版社（岩波，農文協）と協議する必要があることを確認した。

[財務]

* 資料に基づき，近年の財務状況について詳しい説明があった。
* 学会関連の旅費について旅費申告書の提出を求める旅費内規の改正案が提案され，了承された。
* 大会開催に必要な経費について内規に基づき説明があり，了承された。
* 2014年度神戸大学大会の決算書が報告された。

 [情報]

* J-STAGE上での和文誌の公開について，本年度の科研費DB事業が正式に採択され，掲載に向けた作業がスタートしたことが報告された。
* 英文誌のJ-STAGE公開に向けて，J-STAGE側の求める体裁が整ったJJRE誌が刊行され次第，申請を目指すことが確認された。
* 会員名簿について，今後は無償配付を行わないことは既に総会で報告されているが，有償による配布も，個人情報保護の観点から難しいのではないかとの提案があった。経費もかかるため，今後当面は名簿配布を見送ることにした。編集・企画など会務遂行上必要な場合は，担当者に対し，必要最小限の情報を掲載した名簿（またはファイル）を用意する方向で検討することにした。

 [学会賞・国内学術交流]

* 次期学会賞の選考に向けたスケジュールが提案され，了承された。選考委員７名が指名されたことも報告された。
* 共著書の位置づけなど，現行の学会賞関連規程および選考手続きの課題・検討課題が指摘され，今後具体的に検討することになった。
* 関連学会・学会誌編集担当者会議（9月18日（木）於：東京大学）の開催案が紹介された。当日は担当の玉副会長および清水和文誌編集委員長が参加できないため，進行は櫻井庶務理事が担当し，本学会の会誌改革状況の説明は代理の編集委員（要選出）が行うことになった。

[国際交流]

* 日韓シンポジウムの準備状況について説明があった。2015年度は農協改革をテーマにする予定である。国際交流委員会および韓国とのコーディネートを担当されてきた松本先生を中心に協議中である。
* アジア農業経済学会・ダッカ大会（10月開催）について，資金援助のための拠出が確認された。
* 今後，アジア農業経済学会大会を支援するため，日本での大会開催および資金援助増額を検討する必要があることが説明された。
* ８月に台湾で開催される学術会議に生源寺会長が参加することが報告された。

 [庶務]

* 会則・細則・規程の文面および内容をチェックし，現時点で把握できた問題点が紹介された。次回理事会および総会にて必要なものを改正すべく準備することにした
* 役員業務等に関する細則については，年内をめどに，現状との齟齬を各担当に再確認いただいた後，改めて改正案を検討することにした。
* 庶務理事の２名体制化と１年おき交代制導入について，選出母体である関東地区での検討経緯を確認した結果，反対意見はなかったことから，来年１月の関東地区理事会（予定）に向けて２人体制化に必要な事項（担当校との協議，２名の分担の明確化など）を具体的に検討することになった。
* 次回大会開催校代表である野見山会員を常務理事会にて正式に会長指名理事として承認した。任期は次回大会終了まで。

３．その他

* 学会事務局（武石農林統計協会参与）より，会員数動向と会費納付状況について資料に基づき説明があった。理事からも会費未納者に対して納入を促すことにした。
* 学会が協会に委託している業務内容と事務局の体制を説明する資料が提示された。
* 地区担当理事の具体的な選出方法について意見交換を行った。
* 2016年度大会の開催校について，会長及び企画担当・中嶋副会長を中心に選出・依頼を進めることを確認した。

【今後の会議予定】

第２回常務理事会　3月8日（日）午後（時間は未定）

　東京大学農学部１号館３F　農業・資源経済学専攻会議室にて開催予定